



プレスリリース
2013年10月11日

昨年に引き続き、東日本大震災被災地に 新たに500本を超える植樹を実施

フランスを拠点とするアジアパシフィック最大のホテルチェーン、アコーホテルズは、アコーのサステイナブル・デベロップメントプログラム「Planet 21(プラネット 21)」の一環として、昨年より支援している「寂光の森プロジェクト」(東日本大震災で被災した宮城県、石巻市を中心に、被害者の方々への追悼と、被害によって破壊されたエコシステムの再建に向けた20,000本の植樹を目標とする)の植樹活動を実施。

同プロジェクトスポンサーである、エールフランス航空/KLM オランダ航空や、ユニリーバとともに、NPO 法人・いしのまき環境ネット、および地元ボランティアの協力のもと、2013年10月5日・6日の2日間で500本以上の植樹を行いました。



この度の植樹活動では、憩いの場として市民が日頃から訪れる法音寺に、昨年植樹した枝垂れ桜60本に加え、1年を通して訪れる楽しみが増えるよう、新たに25本のもみじを植えました。さらに、同じく石巻市にある、津波により多大な被害を受けた西光寺の住職が犠牲者への鎮魂や復興への願いを込めて計画した、市民が礼拝や休憩できるスペース「祈りの杜」作りを支援するため、地元ボランティアや石工の協力のもと、イヌツゲなど500本を超える植樹を行いました。

今後も、日本国内のアコーホテルズ全体で、「寂光の森プロジェクト」の目標である20,000本の植樹を目指し、支援を続けていきます。

「寂光の森プロジェクト」では、20,000本の植樹を目指し、スポンサー企業を募集しています。



詳細は、「寂光の森プロジェクト」公式サイト:
www.jakkomori.org
(英語・日本語)をご覧ください。



PLANET 21について

PLANET 21 は、サステナビリティ(環境を破壊せずに持続して資源を活用する)をビジネス戦略の中核と位置付けるアコーの社会に対するコミットメント(=約束)で、2012年4月に始動したアコーのサステナブル・デベロップメントプログラムの名称です。世界92ヶ国、3500を超えるホテルで取り組んでいる PLANET 21 では、活動軸として 7つの柱(健康、自然、CO2削減、革新、地域発展、雇用、対話)を提示し、それぞれの柱の下に3項目の行動規範(計21のコミットメント)を掲げています。

アコーでは、約20年前(1994年)に環境部を設立以来、水やエネルギーの消費削減をはじめとする様々な環境保全活動に取り組んできました。さらに、2009年からは、環境保護支援団体「PUR PROJET」に賛同し、地球温暖化防止に向けて推進している世界規模の森林再生プロジェクト「Plant for the Planet (プラント フォー ザ プラネット=地球のための植林活動)」に参画しています。この Plant for the Planet プロジェクトの一環として、日本国内のアコーホテルズでは、PUR PROJET が NPO 法人・いしのまき環境ネットの協力のもと立ち上げた、「寂光の森プロジェクト」を支援しています。

地球のための植林活動: Plant for the Planet

アコーの Plant for the Planet プロジェクトでは、ゲストの皆様にはタオルの再利用を呼びかけ、ランドリーコストの削減分を、植樹を行うという取り組みを世界中のアコーホテルズで行っています。タオル5枚の再利用につき1本の植林に貢献しています。



アコーについて

アコーはフランス・パリを拠点とした世界92ヶ国に約3,500のホテル及び450,000ルームを展開している世界最大級の国際ホテルチェーンです。アコーでは、ソフィテルをはじめ、プルマン、M ギャラリー、グランドメルキュール、ノボテル、スイートノボテル、メルキュール、アダジオ、イビス、イビスマイルズ、イビスバジェット、そしてホテル F1 と、ラグジュアリーからエコノミーまで幅広いカテゴリーのホテルブランドを展開しております。世界160,000名のアコースタッフが約45年の間に培った知識・経験を活かし、心温まるサービスでゲストやパートナーの方々をお迎えいたしております。

www.accor.com | www.accorhotels.com

報道関係者からのお問い合わせ

浅場 衣里

マーケティング & コミュニケーションズ エグゼクティブ

T: 03-5157-1733

E: eri.asaba@accor.com